ユニセフ　ボランティア 通信　No.62　2016.2.29.

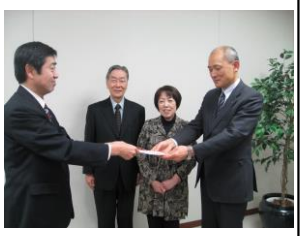
「未来の七郷まちづくり」発表会　２月２日（火）　仙台市立七郷小学校

日本ユニセフ協会が「子どもにやさしい復興計画」支援の一環として、山形大学と竹中工務店と共に 2012 年からサポートを続けている「未来の七郷まちづくり」ワークショップの発表会が開催され多くの保護者の方々、地域や仙台市の関係者が参加しました。６年生が総合学習の時間を使って、10～15 年後の「未来の七郷」のまちを模型で表現しました。児童一人ひとりが工夫した点や「未来のまち」に対する思いを発表しました。緑があふれ、みんなが笑顔になれる「スマイルグリーンシティ」、人と人とのつながりを大切にする楽しい「つながる七郷ハッピータウン」というテーマで考えたまちです。シンボルとなる街を見渡せる観覧車は緊急時には避難できる、多くの人に来てほしいという思いから植物園や水族館を配置、「七郷大学」「七郷（ななさと）の湯」、防災を意識した工夫が各所に見られました。このワークショップを通して実に多くのことを学んだ子どもたちは、未来を担う大きな力になってくれることでしょう。地域の方々も大いに期待しているようでした。

募金贈呈式

■１月 14 日､聖ウルスラ学院英智小学校３年Ａ組のみなさんから 5,913 円の募金贈呈があり、学校へ出向きました。途上国の同年代のお友だちのために、おこづかいを節約してユニセフに募金してくれました。

■１月 27 日、河北新報社で読者からの「寄託金」の贈呈式がありました。５件、130,624 円の募金協力がありました。ありがとうございます。



■２月 24 日、聖ウルスラ学院英智小・中学校のみなさんが取り組んだハンド・イン・ハンド（街頭募金活動）での 83,895 円の募金贈呈がありました。自分たちでポスターやメッセージ・ボードを作成し街頭で呼びかけたのが印象的でした。

ユニセフ学習（出前講座）

１月 15 日、仙台白百合学園中学校３年生 92 名を対象に、ユニセフ学習会を開催しました。初めて学習講師をしたボランティアさんが活躍しました。フォトランゲージで世界の子どもたちのことを思い、ユニセフが活動する内容を知り、日本にいても応援できることを熱心に学びました。

2015 年１月～12 月、宮城県内からのユニセフ募金総額は２億 4,100 万円（学校からの募金は 376 校 770 万円を含む）そのうち、宮城県ユニセフ協会に寄せられたユニセフ募金は、4,200 万円でした。ダイレクトメールでの募金やマンスリーサポート募金など、直接日本ユニセフ協会へ募金されるのがとても多いですね。日本の皆さまからの募金は、ようやく震災前の募金額に戻り 180 億円を超えました。詳細は４月に発行される日本ユニセフ協会の UNICEF NEWS に「2015 年度年次報告概要」として報告が掲載される予定です。

宮城県ユニセフ協会　〒981-3194　仙台市泉区八乙女４－２－２　みやぎ生協ウィズ1F　事務所：月曜日～金曜日
Tel　022-218-5358　Fax 022-218-5945　E-mail　sn.municef_miyagi@todock.jp　10：00～17：00
新しい情報はホームページが便利です　http://www.unicef-miyagi.gr.jp　上記以外 080-5849-6072（五十嵐栄子）